

専門看護師・認定看護師



● 感染症看護専門看護師 感染管理認定看護師

院内における感染を防止し、患者さんには安全な療養環境を、スタッフには安心して働ける職場環境の提供を目指して活動しています。感染症看護の対象は幅が広く、病院内だけではなく、地域全体が対象となるため、医師や看護師、他職種と連携を取りながら日々取り組んでいます。医療の高度化に伴い、感染対策の重要性はより一層増しています。知識や経験をもとに、正確な情報と対策をお伝えできるよう、これからも努力していきたいと思います。

大釜 恵 (2013年/2007年取得)



● 感染管理認定看護師

感染管理の目的は、患者さんや来院者、職員を含めた病院における全ての人を感染から守ることです。そのため医師・薬剤師・臨床検査技師など、多職種で構成される院内感染対策チームメンバーと共に院内ラウンドを行い、職員が適切な感染防止策を実施できるよう活動しています。新型インフルエンザなどの感染症にも備え、今後も病院職員の感染対策向上のための活動を行い、安全で安心できる療養環境を提供できるよう努めていきたいと思います。

橘 深恵 (2014年取得)



● 皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師は、人工肛門・人工膀胱・褥瘡をはじめ治りにくい傷、失禁（尿・便）などに伴い生じる問題に対し、専門的な知識と技術を持って質の高い看護を提供できるよう努めております。排泄は簡単に人に相談できるといったものではなく、苦勞は計り知れません。

特に皮膚と排泄問題を抱える方々に日常生活の相談や心の悩みを含めた全人的ケアを実践し、ご本人や家族が安心して生活できるよう、ケアを行っています。

横山 優美（2011年取得）



● 透析看護認定看護師



透析患者さんご家族は、先の見えないトンネルを歩きます。その道で寄り添い、患者さんご家族が見出した方向へと支えることが私たちの役割です。1つ1つの出来事やサインをキャッチして、患者さんが安心して相談や治療を受けられるように心がけています。

価値観が多様化する中、患者さんらしい生活が送れるよう、チーム一丸となってサポートしていきたいと考えています。

中村 明宏（2013年取得）

● 救急看護認定看護師

救急を受診される患者さんは時や場所を選ばず発生され、あらゆる場面で救急看護が行われます。その対象は多種多様な疾病や外傷が含まれ、年齢層も小児から高齢者と幅が広いです。このような背景で受診される患者さんの病態の緊急度や重症度を判断し、患者さんが迅速でかつ安全な検査、治療、看護が受けられるよう心がけています。また、院内スタッフの救急蘇生技術の向上を図り、院内教育を行っています。



菱沼 民子（2013年取得）



● 訪問看護認定看護師

訪問看護の魅力に惹かれ、この道で頑張ろうと決心し、訪問看護認定看護師になりました。認定看護師として、日々行っている看護を患者・家族、多職種の方々に、わかりやすい言葉で伝えられる事を大切にしています。

また超高齢化社会において住み慣れた地域で人生を全うできるよう、在宅で療養している方とその家族を支援していくために、地域の多職種の方々と良い連携をとって協働していきたいと考えています。



南 みゆき（2015年取得）

● 緩和ケア認定看護師

その人の持つ、身体的・心理社会的・スピリチュアルな苦痛を緩和し、自分らしく今を生きることを、ご本人・ご家族とともに考え、ケアを提供するのが「緩和ケア」だと考えております。ご本人や・ご家族が安心して療養生活を送れるように、そばに寄り添い（Presence）、擁護し（Advocacy）、癒しや意味を見つけるサポートを心がけております。

岸川 美輪（2008年取得）

● がん性疼痛看護認定看護師

がんの痛みを抱える患者さん、ご家族に対し、診断・治療時期から終末期まで、全人的な視点でアセスメントを行い、苦痛を取り除き、QOLを高められるよう援助を行っています。スタッフに対し、がん性疼痛緩和についての相談を受け、共に問題解決に取り組み、情報提供を行い、知識・技術の向上を目指しています。

新倉 菊代（2010年取得）

